スクリーンに映る、私たちのまち

11月3日㈷に公開の映画『ゴジラ－0（マイナス・ゼロ）・0』の撮影が舞鶴市内でも行われました。

市内ではこれまでから、赤れんが建造物や風情ある港町といった多彩なロケーションを舞台に、数多くの映画やドラマが撮影されています。

映像制作者を魅了する歴史的な建造物や豊かな自然は、全国に誇るべき舞鶴の大きな魅力です。私たちが普段何気なく目にしている日常の風景の中にこそ、作品を彩る特別な情景が広がっています。

ぜひ、スクリーンに映る舞鶴の風景を通じて、身近にあるふるさとの魅力を再発見してみましょう。

《商工・観光振興課》

ゴジラ－0.0

11.3［火・祝］

FILMED FOR IMAX

監督・脚本・VFX　山崎 貴

第 96 回アカデミー賞® 視覚効果賞受賞

世界が熱狂した『ゴジラ -1.0』のその先へ。

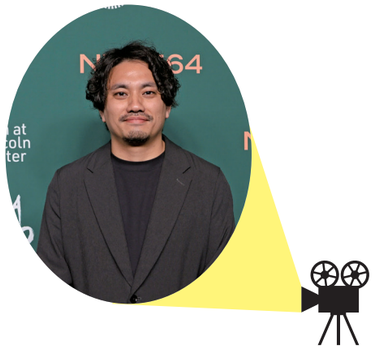
市内で撮影された作品とロケ地の一部を紹介します。
この他にも多くの映画やドラマなどでさまざまなスポットがロケ地となっています。詳細はホームページで確認を。右コードからアクセス可。

舞鶴フィルムコミッション
MAIZURU FILM COMMISSION

- テレビ朝日ドラマプレミアム「看守の流儀」（2025 年放送）
  赤れんがパーク、三浜地区 など
- 映画「国宝」（2025 年公開）
  吉原地区（入江 など）
- 映画「わたしの幸せな結婚」（2023 年公開）
  東郷邸、北吸配水池、北吸トンネル、赤れんがパーク
- 映画「アルキメデスの大戦」（2019 年公開）
  日本板硝子㈱旧社宅、北吸配水池 など
- 映画「あの日のオルガン」（2019 年公開）
  松尾寺駅前観光交流施設（旧駅舎）、大庄屋上野家
- 映画「海賊とよばれた男」（2016 年公開）
  田井漁港、松栄館、日本板硝子㈱旧社宅 など
- 映画「日本のいちばん長い日」（2015 年公開）
  葦谷砲台跡、第三火薬廠覆土式火薬庫跡 など
- 劇場版「名探偵コナン 絶海の探偵」（2013 年公開）
  海上自衛隊北吸係留所 など

舞鶴（京都府）がロケ地になりました

映画づくりの現場から見た、舞鶴の魅力！



今回、映画の制作に携わったプロデューサーの岸田一晃さんにお話を伺いました。

岸田さんは過去にも、映画『アルキメデスの大戦』で舞鶴ロケに関わっておられます。

Q 舞鶴を口ロケ地に選ばれた「決め手」は？

A

今回の映画は、劇中の「昭和 24 年」という時代設定に合致する場所を全国で探していました。海上自衛隊の施設を現地調査させていただいた際、敷地内にある格納庫の保存状態が良く、現代的な改装も行われていなかったため、他では見つからない唯一無二の場所だと感じました。「ここで撮影をしたい」と思い、ロケ地として選定させていただきました。

Q 舞鶴での撮影で印象に残っていることや苦労したことは？

A

普段は入ることのできない自衛隊の敷地内ということで、撮影関係者の出入りに特に気を配りました。舞鶴市や海上自衛隊の関係者の皆さんに協力いただいたおかげで、撮影は滞りなく進めることができました。準備中からの心遣いや、撮影当日に振る舞っていただいたカレーや万願寺甘とうなどの差し入れは大変印象に残っています。

Q 舞鶴の街並みを見て、今後もどのような映画のロケ地として活用が期待できますか？

A

舞鶴市とはこれまでも縁があります。昔ながらの街並みや海軍ゆかりの施設、美しい舞鶴湾の景色が共存する舞鶴にぴったりな作品があれば、ぜひまた舞鶴を訪れたいです。

Q 公開を楽しみにしている舞鶴市民へのメッセージをお願いします！

A

舞鶴でしか撮れない映像を収録することができ、映画の世界観に舞鶴の空気が詰め込まれた作品になったと思います。

ぜひ、劇場でご覧ください!

イベント情報

映画の公開にあわせ、映画公式とのタイアップ企画などを予定しています。イベントなどに関する情報は 11 月 9 日㈰からホームページで紹介します。右コードからアクセス可。